

SDGs 未来都市選定について  
福島県知事へ報告します

令和元年7月19日  
郡山市政策開発部  
政策開発課  
担当：猪股 秀行  
TEL：924-2021

7月1日、郡山市が「SDGs 未来都市・自治体SDGsモデル事業」に選定されたこと  
について、福島県知事へ報告します。

- 1 日時 7月22日(月) 午前11時10分～午前11時20分
- 2 場所 福島県庁 県知事室
- 3 出席者 福島県知事 内堀 雅雄 様  
郡山市長 品川 万里  
※ 当報告は、公開します。

【SDGs (Sustainable Development Goals:持続可能な開発目標)】

2015年9月の国連サミットで採択された2030年を期限とする、先進国を含む国際社会全体の17の開発目標。

すべての関係者の役割を重視し、「誰一人取り残さない」社会の実現を目指して、経済・社会・環境をめぐる広範な課題に取り組むもの。

【SDGs 未来都市】

国が自治体による達成に向けた取組の提案を公募し、未来を見据えた独自性の高い、優れた取組を提案する都市を「未来都市」として選定する。

2018年度から開始し、3年間で90都市程度（毎年度30都市程度）を選定予定。

【自治体SDGsモデル事業】

「未来都市(30都市)」のうち、特に先導的な取組を「自治体モデル事業」として10事業選定。

「自治体モデル事業」に対し、国から最大3千万円の補助金が交付される。

▼事業実施経費：上限1千万円（定率補助：1/2）

▼普及啓発等経費：上限2千万円（定額補助）